

		富士							
	駿河	同							
管七	同	同							
同	同	同							
七郡	駿河 駿東 國元	同							
同	駿東	同							
同	同	同							
同	同	同							
同	同	同							
同	同	同							
同	同	同							

〔駿河國新風土記提要〕郡

道雄曰、コノ國昔ヨリ郡ヲ分ツコト七ツ、風土記ニ、大郡參中郡貳小郡貳鳥渡郡大伊穂原郡大富士郡中安辨郡中薦河郡大志太郡小麻賤郡小ト見エタリ、有渡郡ノ地今ノ田額三万三千石餘、駿河郡高四万七千七百石餘ナレバ、大郡ト云ベシ、伊穂原郡高二万石餘ナリ、二郡ニ比スレバ小ナレドモ、コノ郡ハ多ク海濱ナレバ、人民モ多ク昔ヨリ土地開ケシ所ナレバ、大郡ト云シナルベシ、富士郡高三万五千三百石餘ナレバ、郡ノ中富士川ノ急流アリテ、昔ハ田地モ開ケズ、人民モ少カリシカラニ、中郡トハ定マリシナルベシ、安辨郡高一万二千五百石餘、田ハ少ケレド、土地廣ケレバ中郡ニハ入シナルベシ、志太郡高三万六千六百石餘、益津郡高一万八千八百石餘、コノ二郡ハ大井川ノ急流アリテ、今ノ田地多クハ新ニ開キシ所ナレバ、土地ノ人民モ少カリシコト知ラレタリ、大中小ノコト、今ノ田額ノ高ヲ以テ論ズベキニアラズドモ、戸數多ケレバ田所モ多キコト知ルベキナレバ、今ノ田數ニヨリテ論ズルナリ、

〔駿河國新風土記〕郡の事

志太郡 和名抄風土記并作志太、風土記異本作止太、其餘諸書皆作志太、志太と名付し事は、此郡の内、玄だと云草の多く生ふる故にやあらむ、凡其地に多く生ふるものもて、郡名又は郷名に

志太郡